



強制承認コードとクライアント識別コードの削除

この章では、削除するコードが含まれたカスタムファイルを使用して、システムから CMC コードと FAC コードを削除する方法について説明します。前に挿入または更新した承認コードが含まれたカスタムファイルを編集でき、また削除するコードを手動で入力した CSV ファイルを新規に作成することもできます。

- [コード設定の削除例 \(1 ページ\)](#)
- [強制承認コードとクライアント識別コードの削除 \(3 ページ\)](#)
- [強制承認コードとクライアント識別コード関連のトピック \(4 ページ\)](#)

コード設定の削除例

既存の CSV ファイルを編集する場合は、ファイルを更新して、削除するコードが含まれている行だけがファイルに残っているようにする必要があります。

CMC の例 (既存の CSV ファイル)

次の情報が含まれたファイルを入手して、クライアント識別コード、5550、5551、および 5555 を削除する場合を想定します。

- 5550,Phil Jones DDS
- 5551,Southwest Shades
- 5552,Happy Pharmaceuticals
- 5553,Weddings by Joyce
- 5554,Peterson Plumbing
- 5555,Acme Toys
- 5556,Chicago Paralegals

エントリを削除する前に、ファイルに次のエントリのみが含まれている必要があります。

- 5550,Phil Jones DDS
- 5551,Southwest Shades
- 5555,Acme Toys

CMC の例（新規 CSV ファイル）

コードを削除するために新しいファイルを作成する場合は、次の例に示すように、そのコードだけを、行で区切ってリストします。

5550

5551

5555

FAC の例（既存の CSV ファイル）

次の情報が含まれたファイルを入手して、John、Dave、およびBillに割り当てられた承認コードを削除する場合を想定します。

- 1233,Sandy Brown,30
- 1234,John Smith,20
- 1235,Dave Green,30
- 1236,John David,20
- 1237,Alex Anderson,30
- 1238,Bill Jones,20
- 1239,Jennifer Summers,20

John、Dave、およびBillのエントリを削除する前に、ファイルに次のエントリのみが含まれている必要があります。

- 1234,John Smith,20
- 1235,Dave Green,30
- 1238,Bill Jones,20

FAC の例（新規ファイル）

コードを削除するために新しいファイルを作成する場合は、次の例に示すように、そのコードだけを、行で区切ってリストします。

1234

1235

1238

関連トピック

[強制承認コードとクライアント識別コードの削除](#) (3 ページ)

[強制承認コードとクライアント識別コード関連のトピック](#) (4 ページ)

強制承認コードとクライアント識別コードの削除

カスタム CSV ファイルを使用することで、CMC レコードと FAC レコードを削除できます。



- (注) bat.xlt で作成された挿入トランザクションまたはエクスポートトランザクションのファイルを削除トランザクションに使用しないでください。代わりに、削除する必要のある CMC または FAC レコードの詳細を含むカスタムファイルを作成する必要があります。削除トランザクションにはこのファイルだけを使用してください。このカスタム削除ファイルでは見出しが不要で、コードの値を入力できます。

始める前に

- 次のいずれかのタスクを使用して、削除するコード用の新しい CSV ファイルを作成します。
 - CMC については、[CMC の例 \(新規 CSV ファイル\)](#) (2 ページ) を参照してください。
 - FAC については、[FAC の例 \(既存の CSV ファイル\)](#) (2 ページ) を参照してください。
- サーバーで、サーバーの最初のノードから適切な CSV ファイルをダウンロードします。詳細については、「[サーバからのファイルのダウンロード](#)」を参照してください。
- テキスト エディタで、既存の CSV ファイルを開いて編集し、エントリを削除します。
- 変更した CSV ファイルをサーバーの最初のノードにアップロードします。詳細については、「[サーバへのファイルのアップロード](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1** Administration で、クライアント識別コードと強制承認コードのどちらを削除するかに応じて、次のオプションのいずれかを選択します。
- a) CMC の場合は、[一括管理 (Bulk Administration)] > [クライアント識別コード (Client Matter Codes)] > [クライアント識別コードの削除 (Delete Client Matter Codes)] の順に選択します。

- b) FACの場合は、[一括管理 (Bulk Administration)] > [強制承認コード (Forced Authorization Codes)] > [強制承認コードの削除 (Delete Forced Authorization Codes)] の順に選択します。

ステップ2 ドロップダウンリストからカスタムファイルを選択して、[検索 (Find)] をクリックします。[クライアント識別コードの検索/一覧表示 (Find and List Client Matter Codes)] ウィンドウまたは [強制承認コードの検索/一覧表示 (Find and List Forced Authorization Codes)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ4 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐに CMC または FAC を削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 後で CMC または FAC を削除する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ5 FAC と CMC を削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

注意 削除用のジョブを送信する前に、表示された結果リストの全体を必ず確認してください。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[強制承認コードとクライアント識別コード関連のトピック \(4 ページ\)](#)

強制承認コードとクライアント識別コード関連のトピック

- [CMC および FAC 機能の実装](#)
- [BAT を使用した CMC と FAC のセットアップ](#)
- [BAT.xlt を使用した CMC および FAC 用 CSV データ ファイルの作成](#)
- [テキストエディタを使用したクライアント識別コードと強制承認コード用 CSV データ ファイルの作成](#)
- [既存の CMC または FAC CSV データ ファイルの編集](#)
- [CMC および FAC 用 CSV データ ファイルの設定項目](#)
- [BAT を使用した CUCM データベース内の CMC または FAC の更新](#)
- [コード設定の削除例 \(1 ページ\)](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。